

第14回 大阪大学All Round 運動制御学セミナー



Dr. Ken Ohta 太田憲氏

株式会社スポーツセンシング

NTTコミュニケーション科学基礎研究所, 客員研究員

身体運動における運動パターン形成について

ヒトらしい自然な運動とは何かということ、特にその運動のパターン形成という観点から考える。それは、神経科学的、または生理学的な拘束からではなく、力学、特に運動の効率が強くそれを拘束していると考えている。

また、身体運動において“スポーツ”は特別な運動ではなく、日常の身体運動の延長で、運動パターン形成の原理を考えていくうえで問題を顕在化する運動として捉えている。このことを示すために、ハンマー投の運動から走行、日常の歩行運動も含めて力学解析の例を示していきたい。

日時：2024年3月18日（月）18:00-19:30 その後、懇親会（会費制）

会場：大阪大学豊中キャンパス

健康体育研究棟2Fセミナー室

※オンライン配信予定（参加登録後にリンクをお知らせします）

参加者数の事前把握のため、QRコード、または下記のURLから事前登録へのご協力をお願いします。（懇親会参加を希望される方は1週間前までの参加登録をお願いします。）

<https://forms.gle/7GD7sB9VLx8LDksP6>



担当：小笠原一生（大阪大学大学院医学系研究科 運動制御学教室）

TEL: 06-6850-6037 E-mail: oubmc@hss.osaka-u.ac.jp